

〈巻頭言〉	1
<b>共産主義者が、反戦・平和闘争に対してとるべき基本的態度を再確認するために</b> ——「第一インターナショナル創立宣言」「バーゼル宣言」を再読する 本誌編集委員会	
<b>在日本朝鮮人総聯合会第 25 回全体大会への連帯メッセージ</b>	5
〈2022 年国際婦人デー 3・5 東京集会基調報告〉	6
<b>進行する改憲の危機に立ち向かい、働く権利を取り戻そう</b> 2022 国際婦人デー 3・5 東京集会実行委員会	
〈声明〉	12
<b>ロシアによるウクライナへの軍事介入について</b> 米国平和評議会【訳＝木田誠也】	
<b>ギリシャの NATO 加盟 70 周年に際してのギリシャ共産党中央委員会政治局の声明</b> …… 16 ——帝国主義の計画への関与に反対し NATO と EU からの脱退を求める組織された大衆的闘い ギリシャ共産党中央委員会政治局【訳＝杉本芳夫】	
<b>カザフスタンを揺るがした人民の闘い 階級闘争の重要性は不滅</b> …… 20 ——今も将来も階級闘争は社会発展の『推進力』 ヨルゴス - マリノス（ギリシャ共産党中央委員会政治局員）【訳＝杉本芳夫】	
<b>キューバ革命のイデオロギーについての覚書</b> …… 24 エドゥアルド - トレス - クエバス【訳＝沖江和博】	
<b>現代資本主義の構造的危機</b> …… 30 ——われわれは今どこにいるのか 小野利明（世界経済研究）	
〈HOWS2021 後期講座「国境を越える人民連帯の道を探る」シリーズ〉	38
<b>植民地・占領地から収奪した文化財の返還を!</b> ——由来・戦利品・想像力・国宝 五十嵐 彰（慶応義塾大学非常勤講師）	
〈遺稿〉	50
<b>佐々木辰夫の沖縄人民党事件をめぐる二つの文書</b> ——「人民党事件」——何が問題か／——沖縄人民党事件をふりかえる 『国際主義』編集委員会	
〈HOWS 2020 年度後期講座 シリーズ「レーニン『帝国主義論』を読む」第 3 講〉	63
<b>『帝国主義論』から 100 年後の現代世界</b> 山下勇男（社会主義理論研究）	
〈読者のたより〉	78
<b>「レーニン「帝国主義論」を読む」講座第 1 - 2 講を読む</b> 林 輝一	
<b>“ 此処 ” ではない “ 何処か ” を求めて</b> ——本誌前号の李柄輝論文を読みながら 池允学	